

山形県公立小中学校事務職員研究協議会

東置賜支部・米沢支部合同研修会記録

日時:令和元年11月15日(金)13時30分～

会場:南陽市沖郷公民館 多目的ホール

進行:鷺尾(沖郷中)

記録:貝野瀬(玉庭小)・嵐田(赤湯小)

1 開会のあいさつ(高梨 東置賜副支部長)

2 係校長あいさつ(半田 高畠小学校長)

- ・事務職員は働き方改革を支える大きな柱。

3 支部長あいさつ(後藤 東置賜支部長)

4 研修

(1)講演 『学校事務』編集からみた“学校”事務職員への期待

講師 学事出版『学校事務』編集長 木村 拓 氏

<学校事務誌について>

- ・創刊70周年。もともとは学校事務職員が作った雑誌で、以前は待遇格差や給与格差があったため、それをなくすために出版を始めた。
- ・学校事務はやろうと思えば何でもできる職業。学校に必要とされる事務職員であって欲しい。
- ・現在の学校事務誌は、若手職員のインタビューを増やし、見やすくすることを意識している。
- ・読みたい内容があれば教えて欲しい。

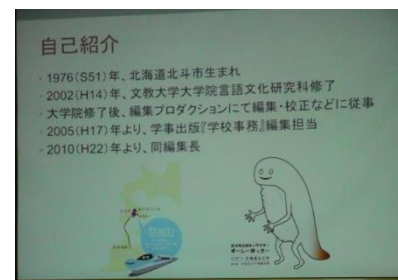
<学校事務を取り巻く状況(今後への期待)>

【つかさどる改正について】

- ・法改正から2年。「従事する」から「つかさどる」への改正は、期待されているということである。
- ・事務職員の職務は広がっており、学校事務は何でもできる守備範囲の広い仕事だと思う。
- ・学校財務や施設設備など、得意なものを一つ見つけてそこから仕事を広げていくと良いのではないか。
- ・平成29年より愛知教育大学で学校事務職員の養成課程が新設されたが、教員を目指す学生と一緒に学ぶことで、お互い良い影響を与えているようだ。
- ・公立はこだて未来大学の例より。

…学生がキャンパスの中にいる間は、すべてが学びの時間であり、すべてが学びの空間であるという発想のもと、自由に使える机の設置や壁を透明にするなど、空間を計画的に設計している。

…小中学校も大学とは違うが、エッセンスはある。
時計の配置(なぜそこに時計があるのか)や椅子や机の種類(なぜその椅子・机なのか)など、すべてについて計画されているべきである。



【政令市移管について】

- ・身分が市職員となったため、研究会がなくなってしまった県がある。市職員には研究会がないため、理解が得られずなくなってしまった。
- ・3年で他部署に異動してしまうケースもあり、全く違う部署に異動する事務職員に求められることは少ない。
- ・学校事務職員は学校にいてこそ。現場でその力を発揮してほしい。

～研修だけで終わるのではなく、ぜひ実践につなげて欲しい。

(2)グループワークによる意見交流 ドラえもんトーク！

テーマ「こんなこといいな できたらいいな」

思いをかなえる方法を 学校(職場)で 共同実施(学校間連携)で

<感想>

【事務職員より】

- ・日頃の悩みに対する解決策を、先輩方より教えてもらえて大変良かった。
- ・自分がやりたいことについての解決方法を教えてもらったので、挑戦していきたい。
- ・様々な視点で初めて分かったことがたくさんあり、大変勉強になった。たくさんのアドバイスを、明日からの仕事につなげていきたい。



【講師 木村氏より】

- ・施設に関する思いが多くみられた。施設整備にも女性目線を取り入れると良いと思う。
- ・政治力を身につけ、よい環境づくりをして欲しい。

【吉川副所長より】

- ・何かをするときに一人では難しいので、周りを巻き込む力を身につけていって欲しい。
- ・待っているだけでは欲しい情報は入ってこないなので、自ら情報を発信していって欲しい。

5 お礼のことば(高橋 米沢支部長)

- ・学校事務誌が、事務職員から創刊したということに驚いた。
- ・愛知教育大学で新設された教育ガバナンスコースの話や、「学校の中にいる間は全てが学びの時間であり、すべてが学びの空間である」、学びの環境デザイナー、事務職員は舞台監督だという言葉が、学校事務職員を後押ししてくれる言葉だと感じた。
- ・山形県は、全国にはまだまだ遅れているが、自分たちの事例を学校事務誌に載せてもらうことが出来るような実践を積み重ねていきたい。
- ・これからますます充実した内容で、多くの学びの場と、進む力を提供してほしい。

6 閉会のあいさつ(高橋 米沢副支部長代理)